



おくたま 町議会だより

第 176 号

平成 28 年 2 月 5 日発行



わさびー

編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

町議会が新体制となりました



酒井 正利 副議長
議員歴3期
下水道事業特別委員長、総務文教常任委員長等歴任



須崎 眞 議長
議員歴3期
副議長、経済厚生常任委員長等歴任

就任にあたって

この度、私ども須崎 眞、酒井正利が正副議長に就任いたしました。微力ではありますが、その使命を果たしてまいります。

昨年は、奥多摩町が誕生してから六十年がたち、六十周年記念式典、また、各種記念行事が町民参加により行われ、大きな節目を町全体で祝い、意義深い年になったと思います。また、下水道事業の本管工事も今年度完了予定で、町の生活環境も一段と整備されることとなりました。今後、特に少子高齢化を迎えるにあたり、今年度から始まった第5期奥多摩町長期総合計画に基づき、町議会としての取り組みも重要視されてきます。

今後も町民皆様の期待に添えるよう、議員活動を通して、より良い町づくりのために努力してまいります。

議席番号	議員名	会派名
12	須崎 眞	緑水会
11	酒井 正利	緑水会
10	師岡 伸公	緑水会
9	村木 征一	奥多摩 維新会
8	原島 幸次	緑水会
7	高橋 邦男	緑水会
6	宮野 亨	公明党
5	石田 芳英	森の あけぼの
4	小峰 陽一	緑水会
3	清水 明	緑水会
2	澤本 幹男	緑水会
1	大澤由香里	日本 共産党

第1回臨時町議会

12月1日、第1回臨時会が開催され、正副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙等、次のおり決定しました。

総務文教常任委員会（6名）



高橋邦男委員長



小峰陽一副委員長



清水 明委員



石田芳英委員

経済厚生常任委員会（6名）



師岡伸公委員



須崎 眞委員



原島幸次委員長



澤本幹男副委員長



大澤由香里委員



宮野 亨委員



村木征一委員



酒井正利委員

議会議長 ○副議長

議会運営委員会（6名）

◎宮野 亨 ○清水 明

大澤由香里 高橋邦男

原島幸次 酒井正利

西秋川衛生組合議会（3名）

澤本幹男 宮野 亨

原島幸次

秋川流域斎場組合議会（2名）

小峰陽一 高橋邦男

三多摩上下水及び道路建設促進協議会（4名）

協議員 須崎 眞

監事 須崎 眞

第1委員会(上水) 澤本幹男

第2委員会(下水) 清水 明
第3委員会(道路) 小峰陽一

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会（2名）

須崎 眞 高橋邦男

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会（2名）

須崎 眞 高橋邦男

首都圏中央連絡自動車道利用促進協議会（1名）

須崎 眞

多摩川南岸道路建設促進協議会（7名）

◎村木征一 ○石田芳英

大澤由香里 澤本幹男

清水 明 小峰陽一

原島幸次

議会だより編集委員会（5名）

◎酒井正利 澤本幹男

宮野 亨 村木征一

師岡伸公

表彰審査委員会（4名）

須崎 眞 酒井正利
高橋邦男 原島幸次

審査委員会（3名）

須崎 眞 酒井正利
高橋邦男

青少年問題協議会（3名）

大澤由香里 高橋邦男
酒井正利

西多摩地域広域行政圏協議会審議会（3名）

須崎 眞 酒井正利
高橋邦男

下水道事業運営委員会（2名）

石田芳英 原島幸次

三か町村議会議員広域連絡協議会（12名）

全議員

健康づくり推進協議会（1名）

石田芳英

大多摩観光連盟（1名）

参与 須崎 眞

国民健康保険運営協議会（1名）

原島幸次

環境審議会（3名）

小峰陽一 高橋邦男
酒井正利

奥多摩・檜原間林道鋸山線改修都道編入促進協議会（7名）

須崎 眞 酒井正利
高橋邦男 大澤由香里
宮野 亨 村木征一
師岡伸公

小口事業資金融資制度等審議会（3名）

清水 明 石田芳英
師岡伸公

消防団員等公務災害給与金支給

第4回定例町議会

第4回定例会は、12月11日から12月18日までの、会期8日間にわたり開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決、同意されました。

計画策定

●議案第82号

過疎地域自立促進計画（平成28年度から平成32年度）の策定について

条 例

●議案第83号

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

●議案第84号

町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例

●議案第85号

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

●議案第86号

介護保険条例の一部を改正する条例

●議案第87号

農業委員会の選挙による委員の定数条例を廃止する条例

訴えの提起

●議案第88号

訴えの提起について（99カ年地上権抹消登記）

契約変更

●議案第89号

小丹波地内若者住宅建設工事

●議案第90号

名坂線林道開設工事

●議案第91号

女夫橋補修工事

人事

●議案第92号

監査委員の選任の同意

師岡伸公氏(新任)

(小丹波 379 番地1)

補正予算

●議案第93号

一般会計(第3号)

●議案第94号

都民の森管理運営事業特別会計(第2号)

●議案第95号

山のふるさと村管理運営事業特別会計(第2号)

●議案第96号

下水道事業特別会計(第3号)

●議案第97号

国民健康保険病院事業会計(第2号)

議員の賛否

賛否が分かれた議案のみ掲載

[賛成...○ 反対...×]

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席番号
須崎 眞	酒井正利	師岡伸公	村木征一	原島幸次	高橋邦男	宮野 亨	石田芳英	小峰陽一	清水 明	澤本幹男	大澤由香里	議員名 議案番号
議長(採決には 加わりません)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第83号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第85号
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議案第86号

一般質問

平成27年12月議会では、18日の3日目に9名の議員が質問を行いました。(通告順)



高橋邦男議員

旧古里中学校施設跡地の利活用について

《答》 地域経済への波及効果や雇用の場の創出など、地域や町の活性化のために有効に活用していく。

高橋 現時点での検討状況と今後検討していくうえでの基本的な方針は。

町長 平成27年4月に課長職で構成する「旧古里中学校活用プロジェクトチーム」を、また、その下部に検討組織として、「ワーキンググループ」を設置し、現地を確認したうえで、「校舎」「体育館」「校庭」といった個々の施設ことに貸し

出すのではなく、「施設全体」を総合的に、また、長期間にわたって活用できることを基本として、慎重に検討している段階である。役場チームによる現時点での検討内容としては、自由提案ではあるが、「教育関連施設」「産業関連施設」「定住関連施設」「福祉関連施設」など、実に多くの意見が挙げられている。

《再質問》

高橋 ①住民への説明が必要だと考えるが、その予定は。

②施設維持管理の状況は。

企画財政課長 ①一定の考え方の整理がついた段階で、住民の皆さんに説明をさせていただきたいと考えている。

②維持管理費に年間約500万円がかかっているので、一日も早く利活用を進めたいと考えている。

国民の祝日「山の日(8月11日)」制定に向け、「観光地奥多摩」のアップールを

.....

《答》 来年の「山の日」の施行、そして、2020年の「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて、さらなる観光客の増加を図るため、今後「観光立町」として「奥多摩観光の振興」に全力で取り組んでいく。

高橋 ①奥多摩観光の目玉は何か。また、足りないものは何か。

②「山の日」制定に向けて、「観光地奥多摩」をどのようにアピールするか。

町長 ①町の観光の「大きな資源」は、キャッチ・フレーズにもなっている「巨樹と清流」である。町の多くの森林からは、「清流」が流れ、「渓谷」を作り出し、その渓谷は、四季折々に彩りを変え、訪れる人々を楽しませ、和ませてくれている。また、都心から2時間以内で来られることや、直通の「ホリデー快速」が休日に行っていることも魅力のひとつである。しかしながら、町の最大の課題は、冬場がオフシーズンとなってしまうことであり、これを打開するため、冬場に宿泊

客を誘致する「観光客誘致宿泊補助事業」を平成25年度から実施している。今後も「冬場観光」を含め、色々なアイデアを出しながら、年間を通じて「滞在型観光地」の実現に向けて努力していく。

②来年度開催予定の「東京メトロポリタン・マウンテン・ミーティング」において、「東京の山の魅力」、「奥多摩の山の魅力」を発信できるよう実行委員会で検討を行っている。また、町内の観光施設等においても「山の日」にちなんだイベント等の実施を検討しているところであり、内容等が決定したい住民の皆さんや町外の方たちに参加いただけるよう、PRしていく。



石田芳英議員

「ミツバツジ」や「ヤマドリ」の増加政策やPRについて

.....

《答》 多くの森林を有する町として、洪水や渇水の抑制、国土の保

全、地球温暖化の抑制など、森林の持つ公益的機能が十分に発揮できるように努めていくことで、「ミツバツジ」や「ヤマドリ」が今後も生息できると考えている。

石田 ①「ミツバツジ」や「ヤマドリ」のこれまでの具体的政策や現況は。

②「ミツバツジ」や「ヤマドリ」の増加に関する今後の方針等は。

町長 ①平成12年度から「奥多摩町花の里づくり事業」を開始し、現在までの間、自治会など町民みなさんが主体となり実施していただき、多くの「ミツバツジ」を植えていただくことができた。また、これとは別に、様々な事業において、「ミツバツジ」の増加に努めている。「ヤマドリ」については、東京都猟友会等で、毎年、放鳥を行っており、今年度は、多摩地域の森林部において「ヤマドリ」100羽を放鳥している。同様に、奥多摩猟友会でも放鳥を行っており、その方法は生息数を増加させるため、あえて鳥獣保護区内としている実績もある。

②今後の地球温暖化の影響により、「ミツバツジ」や「ヤマドリ」に限らず、全ての動植物が減少や絶滅といった状況になることも考えられるので、東京都内陸部の40%の森林を有する町として、森林環境の整備を促進することで、地球温暖化抑制に寄与していく。

《再質問》

石田 開花状況等をホームページに掲載し、PRを。

観光産業課長 ホームページ等でいち早くお知らせできるよう、観光協会と連携しながらPRを図っていく。

寄付された宅地、建物、山林等の管理や有効活用について

.....

《答》 町民の共通財産として、町民の利便性の向上や地域の観光産業の振興、また、町の喫緊の課題である若者の定住対策など、様々な視点に立ち、それぞれの物件ごとに利活用の方法を検討し、優先順位を定め、計画的に実施

しつこく。

石田 ①寄付された宅地、建物、山林等の所在地、面積等の内容について。

②寄付された物件の管理や有効活用の一般的な方針等について。

③特に、鳩の巣溪谷の旧一心亭付近は風光明媚な場所ので観光価値は高いが、どうするのか。

④古里村の入川進入路の町道周辺は日陰になっており、日照障害や凍結等の懸念があるが、この対策は。

町長 ①土地については、山林が20筆で約13ヘクタール、宅地が12筆で4千7百55平方メートル、畑が15筆で3千8百30平方メートル、合計で47筆、約13万8千9百82平方メートルである。また、建物については、住宅と店舗が8棟、納屋・物置が4棟の計12棟である。これら寄付物件の中には、従来から賃貸されていた土地や建物も20件あり、これらは、従前の契約を引き継ぎ、今後も賃貸をしていく。また、建物の中には、

「旧一心亭」など、使用されていない大規模な建物や廃屋も含まれている。

②非常に多くの物件があることから、まず、住民生活に直接影響のある土地や建物など、町として緊急性の高いものから優先的に順位を定め、整理を進めていく。また、管理あるいは活用するためには、まず、これらすべての土地や建物の位置、近隣土地所有者との境界の確定を行う必要があることから、地籍調査の結果を含めて、未確定部分の測量も併せて行っていく必要がある。

③全体的な「整備計画」を策定するとともに、誰もが自由に散策し、休憩ができるような「公園化」に向け、「年次計画」をもって整備していく。

④この路線については、現在、全線の整備計画を作成しているところであり、日照の確保、歩行者及び車両の安全性等を確保するため、今後、山側の立木伐採及び法面の整備、川側の路側の補強及び防護柵の整備等を行うとともに、未舗装部分は全面舗装していく。



師岡伸公議員

オリンピック・パラリンピックの成功に向けた区市町村支援事業について

.....

《答》 2020年競技大会の開催に向け、オール東京で取り組んでいくという方向性の中、今後も拡充が見込まれる区市町村支援事業を教育委員会としても有効に活用していきたいと考えているが、

現在、町では、来年度予算の査定中でもあり、企画財政課を中心に教育関係に限らず、福祉関係、観光産業関係等、町全体の事業の中で、気運醸成の取り組みを進めていく。

師岡 東京都が行う区市町村支援事業に対する町の対応は。

教育長 町では、この新しく創設された補助事業を活用するため、東京都オリンピック・パラリンピッ

ク準備局の担当者を変え、企画財政課、総務課、福祉保健課、観光産業課、教育課の関連する担当職員により協議を行い、新規事業実施には補正予算対応が必要となる事から、既存事業からの掘り起しを行い、ウィーンへの海外音楽交流派遣事業を異文化体験、国際交流イベントとして「普及啓発等事業補助金」に充当することとした。

Uターン、Iターンを受け入れるために

.....

《答》 基本的に町の子育て支援策は、住民に対するもので、町に住所が無い方を対象としているものではないが、将来Uターン、あるいは「Uターンをして、我が奥多摩町を定住の地として考えている若者世代に、町に親しんでもらうことは大変重要なことだと考える。今後は、「きこりん」の事業だけではなく、若者の出会いから結婚までをサポートする「ふれ愛サポートセンター事業」も含めて、奥多摩町の魅力を発信する事業を実施

していく。

師岡 ①施設利用、イベント参加への柔軟な対応を。

②里帰り母親への保健指導等について。

町長 ①「きょうりん」については、乳幼児のいる家庭のみならず、誰でも自由に利用でき、イベントについても参加人数に制限のない事業については、自由に参加していただいているが、「子育てサロン」や「リトミック」などの事業は、講師の希望により、参加人数を限定していることもあり、どうしても町内のお子さんを優先している状況である。今後、事業の種類により困難なものもあるが、なるべく多くの方に参加いただけるような楽しい事業を企画していきたいと考えている。

②当町では、出産した母親からの依頼があれば、調整のうえ、家庭訪問して相談に応じることは、問題ないと考えている。ただ、この場合、母親が自分の住所地の市町村の母子保健窓口に一報入れているだけ、実家の住所等を知らせてい

ただく必要がある。これは逆に、奥多摩町に嫁がれてきた方が、里帰り出産をされた後に、実家の市町村保健師に相談する場合も同様に、町の福祉保健課に連絡していただくようお願いしている。こうした連絡を確実に行うことにより、保健師間での情報共有が図れ、切れ目のない支援につながるようになる。そのうえで、後は市町村間の文書のやり取りだけで産婦、新生児訪問が実施できるので、安心して里帰り出産をしていただけたらと考えている。

《再質問》

師岡 町全体として、どのようにウエルカムの姿勢を表していくのか。

町長 梅沢地区の女性たちが立ち上げた梅女会において、いなか暮らし支援住宅に移住してくる家族をどうやってお迎えし、また、サポートしていくかということを考え、独自に行事等を企画、運営し、活動している。このように、行政だけで考えるのではなく、地域の住

民皆さんが持つている力を結集し、人と人との触れ合いを大切に、町に来る人たちをお迎えする。そのような気持ちが一体となってこそ、初めて、この町に来てよかった、この町で子育てをしてよかったとなるのではないかと考えている。

町制施行60周年記念・60キロウォークを検証する

……………

《答》町では、参加者の意見や、スタッフとして協力した職員から問題点、課題、改善点などの意見を集め、それらを参考資料として

「町制施行60周年記念事業検討プロジェクト会議」を開催し、60キロウォークの検証を行った。検討の結果、奥多摩町の国道には歩道がない場所や狭い場所が多く、特に「いこいの道」など夜間に歩行させるには非常に危険が伴うこと、奥多摩町の立地条件から60キロは長く、特に先頭と最終のゴール時間の差が8時間を超え、管理が難しいこと、夜間出発なので、宿泊などの経済効果も薄いことなどから、毎年同様の内容で実施することは

困難であり、60キロウォークは今年度の60周年記念事業として終了することに決定した。

師岡 今後、この経験をどのように活かしていくか。

教育長 今回の経験を踏まえ、隔年で実施している「歩く大会」の実施方法を見直し、朝スタートして夕方までにゴールすることで、1日かけて奥多摩の素晴らしい景色を堪能できる30キロ以内のコースで、広く町内外に募集する方法で実施できればと考えている。



原島幸次議員

町道、林道の維持管理と冬季道路凍結対策について

……………

《答》今後も、住民皆さんの身近な生活道路の維持管理については、日常生活に支障のないように対応していく。場所によっては、シルバ

一人材センターに清掃業務等をお願いするなど、その保持に努めていく。

原島 ①町道や林道、セラピーロードなどの雑草、雑木の問題に対し、どのように検討し、今後対応するのか。

②路面が凍結する危険な道路は何路線あるのか、また、住民に周知を行っているか。

③下水道工事に伴う舗装変更の危険性は。

町長 ①今後、関係地主等の同意をいただきながら、雑木等の除去につとめ、景観を保持していく。また、立木による日陰対策については、従前からある「日照確保対策事業」により、自治会の協力をいただきながら対応していく。

②町には、町道だけでも³³⁴路線もあり、冬場には、日当たりが良いと言われる地域であっても、路面は凍結しており、町全体の道路が凍結の危険性がある。このようなことから、町では、全自治会に対し、毎年、「凍結防止剤」を配布し

て、凍結によるスリップ事故等の防止に努めていただいている。

③地域によっては、コンクリート舗装により、その養生のために、2日間から3日間の通行止めをする。ことで、日常生活に支障をきたすという理由から、アスファルト舗装に変更した箇所があるが、滑り止め効果のある「開粒アスファルト」を使用し、場所によっては、さらにアスファルトの表面に「ノンスリップ加工」をしている箇所もある。

《再質問》

原島 維持管理費が不足する場合、予算要求ができるのか。

地域整備課長 維持管理については、順次計画的に行っているが、その中で、予算的な問題が生じた場合は、財政係と協議している。



村木征一議員

役場庁舎の外壁の塗装について

《答》 全面塗装には、多額の費用が必要となるので、今後の「役場庁舎のあり方」の中で検討していく。

村木 庁舎の外壁塗装について、計画はあるか。あるとすれば何年先に予定しているか。

町長 現在、「役場庁舎のあり方」について、検討を始めており、長期総合計画にも位置付けたところである。しかし、庁舎の建設には、用地の問題や、国や都からの補助制度もないことから、建設費の問題等も含め、すぐに対応することが困難な状況にある。また、耐震化を実施するにも、仮庁舎の設置等、同様の問題が発生する。このよう

なことから、町では、平成27年度から「庁舎建設基金」として毎年1億円を積み立て、10年間で10億円を積み立てる考えであるが、今後の「役場庁舎のあり方」については、様々な角度から検討すること、一定の方向を出していきたいと考えている。



酒井正利議員

町道小河内峰谷線の道路改修について

《答》 住民の高齢化が進む中、段差が少なく「安全」で「安心」して利用のできる道路の維持と管理を引き続き行っていく。

酒井 計画的に舗装及び法面の保護を含んだ改修を実施し、安全な通行の確保を。

町長 交通に支障がある箇所については、町の職員により、補修作業を行い、傷みの激しい箇所については、補修作業を業者に委託するなどして、管理に努めてきた。しかし、下水道工事に伴い、マンホールを51箇所設置していることや、水道関係のマンホールも点在していることから、マンホールと舗装面とに段差もあり、全面舗装の必要性が高まっている。このため、今後につい

ては、水道事業者である東京都水道局とも協議を行ったうえで、国道入口からの全面舗装に向けて、対応していく。

《再質問》

酒井 現状、危険度の高い段差が5、6箇所あるが、早急に対応できないか。

地域整備課長 早急に調査し、対応していく。



宮野 亨議員

高齢者のボランティア（地域活動）ポイント制度導入を

.....

《答》 近隣自治体で課題となっているボランティア従事者の確保も含めて、当町が新しい総合事業の実施を考えている平成29年4月に向けて、新しい総合事業と一体的かつ総合的に事業内容や制度設計の検討を行い、導入について検討

していく。

宮野 高齢者の社会参加や介護予防につながるとして、大いに期待される「介護支援ボランティアポイント制度」導入の考えは。

町長 平成26年6月25日に公布された「医療、介護総合確保推進法」において、介護保険法も改正され、そのなかで「介護予防・日常生活支援総合事業」についてのガイドラインが示された。この新しい総合事業は、市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民皆さんなどの多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能にすることを目指すもので、「介護支援ボランティアポイント制度」を導入することも可能である。この新しい総合事業は、全国の市町村で平成29年4月までに実施することが義務付けられているもので、当町では平成29年4月からの実施を考えているところである。



清水 明議員

はとのす荘周辺の観光施設整備について

.....

《答》 町は、合併当時から「観光立町」を標榜して、観光施設を整備するとともに、観光客の誘致のために、パンフレットやポスターなどを作成し、また、町外においても様々なイベントに参加して、大いに奥多摩観光をアピールしてきた。その結果、現在では、休日の奥多摩駅には、今まで見たこともない程の観光客であふれ、観光地として確かな手ごたえを感じているが、これに満足することなく、さらなる観光振興に向けて取り組んでいかなければならないと感じている。

清水 ①鳩の巣駅前の広場にベンチを設置し、公園として利用するとともに、簡易店舗を併設し、来遊者のサービス向上と駅前の活性化を図っては。

②町営鳩ノ巣駐車場に駐車位置の区画線を引き、併せて周辺の空き駐車場の活用を図っては。
③はとのす荘周辺の今後の整備の考えは。

町長 ①今のところ具体的な活用計画はないが、今後、地元の柵沢自治会等から、地域の活性化のために「テント・ショップ」などを展開したい、また、改めて園地化したいなどの要望があれば、前向きに検討していく。

②マイクロバスや大型バスも駐車することから、乗用車用、バス用等の区画線を入れることで、バス用区画が1日空いてしまう、また、乗用車区画は空いていてバスを停められるが、乗用車区画なのでバスが帰ってしまう、などの弊害も生じると思われるので、区画線や通路部分の線引きはしないほうが良いと考えている。町営鳩ノ巣駐車場については、町に訪れる観光客が年々増加する中で、車利用の観光客も当然に増加していると考えられているので、町に寄付をしていた周辺の土地を観光用駐車場等

に整備するなどして、一人でも多くの観光客に来ていただくことで、周辺の飲食店や宿泊施設等に経済的効果が波及できるよう対応していく。

③鳩の巣は、すばらしい渓谷や滝、そして紅葉の美しさに加え、森林セラピーロードに認定されている「鳩の巣渓谷遊歩道」の玄関口でもあるので、これら、すばらしい自然景観を壊すことなく、今よりもさらに多くの観光客に来てもらえるような整備計画を策定し、より一層、「鳩の巣観光」が振興できるように努めていく。

《再質問》

清水 滞在型観光へ向けた整備を。

観光産業課長 様々な資源を生かしながら、宿泊観光につながるよう、整備していく。



大澤由香里議員

高齢者の医療費助成制度について
.....

《答》 近隣の町村とは異なる財政事情と行政課題があるので、当町においては、今後も「子ども・子育て・若者の定住支援」をさらに推進していく。

大澤 高齢者の健康寿命を延伸し、住民皆さんが生涯を健康で安心して暮らせる町にするためにも、日の出町の事例に習い、後期高齢者医療費を助成すべき。

町長 当町においては、日の出町のような「特定財源」はなく、現在、当町が抱える最大の課題は、若者の流出に伴う人口減少と少子高齢化である。このため、「若者の定住化」を推進することにより、子供を増やし、さらには、高齢化率が47%に達する町にとっては、各地域における高齢者の見守りや地域コミュニティの活性化、町の安全・安心の確保のための消防団員の確保など、若者の定住は、町にとって、最重要課題であり、最優先事業となっている。このため、平

成20年度から、現在に至るまでの間に、町独自の15項目にわたる「子ども・子育て支援事業」を実施しており、現在、これらの助成費用は年間約5千万円となっている。そのうえで、日の出町と同様に後期高齢者医療費を全額助成した場合には、年間8千500万円が必要となり、その半額助成でも4千万円以上が必要になるが、現時点における町の財政状況では、「後期高齢者医療費の助成」は難しい状況にある。

《再質問》

大澤 全額が無理なら、半額からでも始める価値はあると考えるので、前向きな検討を。

副町長 現在の町の財政状況、財政環境では、ここですぐにできるという状況にはなく、ご理解をお願いしたい。

外出支援サービスについて

.....
《答》 今後も、社会福祉協議会と協力して、「外出支援サービス」や

「地域ささえあいボランティア事業」により、高齢者の日常の「足」の確保を図るとともに、この住民に身近な制度を多くの高齢者皆さんに活用していただけるよう今後もPRに努めていく。

大澤 近隣市町村の事例に習い、町が主体となって、あらゆる町民の足の確保のために、デマンドバスなどを走らせるべき。

町長 西東京バスは、町内をくまなく運行しており、国の基準に照らしても町内には、「交通空白地帯」と言われる地域はない。また、平日のバス路線は、乗降客が少なく、土日、祝日の観光客を含めても、経営的には毎年赤字となっている。さらに、町内を運行する9路線については、バス事業者との協定に基づき、町単独で赤字の補てんを行い、運行を確保しているところである。町にとっても大きな財政負担となっているが、これも住民皆さんの生活の足を確保するために行っているものであり、単に補助をするだけではなく、乗降客数の

調査や、運転手が利用者の声を聞くなどして、バス利用者の増加やJRのダイヤの改正に伴う運行時間の調整などについて、バス事業者と定期的に協議しているほか、PTAや自治会等、地域からの要望にも応えるようにして、少しでも利用しやすい環境整備に努めている。

《再質問》

大澤 西東京バスの運行ルート、運行時間帯以外の検討を。

副町長 「地域ささえあいボランティア事業」を今後もさらにPRしていくので、フルに活用いただきたい。

公営栃久保住宅の改修問題について

.....

《答》 利用者の皆さんから聞き取り調査や住宅使用者の意向調査なども実施しており、住宅での不具合な点、改修の要望などの情報収集にも努めている。今後も、町の公営、町営住宅については、住んでい

る方が安心して、快適に過ごせるよう適切に対応していく。

大澤 居住者の安心、安全な生活を守るために、定期的な点検制度を設け、計画的に改修、改善していくのが管理運営する町としての責任ではないか。

町長 今後も住宅の維持管理については、長寿命化計画に基づき、職員による定期的な点検を行うとともに、使用者の皆さんからの情報収集にも努め、適切な修繕、改修を行っていく。また、町での定期的な保守点検に加え、使用者の皆さんからの通報に基づく修繕も毎年実施しており、昨年は台所、風呂場の給湯器が老朽化により不具合を生じているとの連絡により、3戸の給湯器の交換、修繕を行うなど、延べ23戸で設備の修繕を実施したところである。

《再質問》

大澤 公営栃久保住宅に設置されている公園の柵が、かなり老朽化しており、いつ外れてもおかしくな

い状態である。早急に点検と安全対策を講じるべき。

副町長 緊急性を要するものについては、早急に安全対策を講じていく。

議会日誌

11月

- 1日 農林産物品評会
- 3日 功労者表彰式
- 6日 西秋川衛生組合議会定例会
- 8日 加藤旗争奪駅伝競走大会
- 10日 地域保健福祉計画検討協議会
- 11日 全国町村議会議長大会
東京都町村議会議長会決算監査
- 13日 全国過疎地域自立促進連盟総会
- 15日 町議会議員選挙
- 16日 議員説明会

12月

- 1日 第1回臨時会(第1日)
総務文教常任委員会
経済厚生常任委員会
議会運営委員会
- 8日 議会運営委員会
- 9日 身体障害者福祉協会忘年会
- 11日 第4回定例会(第1日)
- 15日 第4回定例会(第2日)
- 18日 第4回定例会(第3日)
- 22日 地域保健福祉計画検討協議会
- 16日 地方議会活性化シンポジウム2015
- 19日 青梅警察署長歓送迎会
- 24日 議員懇談会
議員勉強会
- 25日 議員研修会
- 27日 議員研修会
- 28日 火災予防業務協力者に対する表彰式
- 全国におけるオリンピックパラリンピックの気運醸成シンポジウム

12月

25日 大多摩観光連盟臨時総会

27日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会

青梅交通安全協会理事新年会

29日 地域保健福祉計画検討協議会

建設業協会賀詞交歓会

1月

6日 青梅商工会議所賀詞交歓会

7日 賀詞交歓会

9日 柔道会稽古始め式

10日 消防団出初式

11日 成人の日の式典

16日 小中学校PTA連絡協議会講演会

19日 消防署関係6団体合同新年会

21日 議会だより編集委員会

国民健康保険運営協議会

22日 西多摩郡町村議会議長会臨時総会

環境審議会

23日 消防団新年会

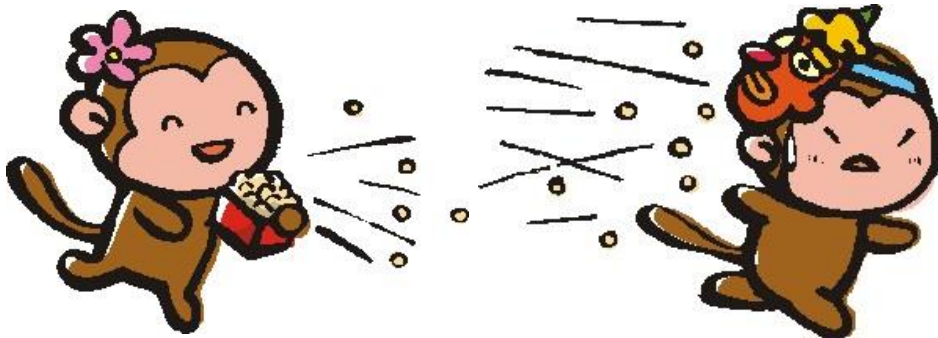
25日 三多摩地区消防運営協議会役員会

青梅防犯協会役員新年会

26日 三多摩地区消防運営協議会第二部会

西多摩地区議長会賀詞交歓会

会



第1回定例会
 3月8日頃から
 予定しています。
 詳細は、町ホームページ、防災行政無線
 でお知らせします。
 皆様の傍聴をお待ち
 しています。



☆議会の様子☆

編集後記

昨年11月に町議会議員選挙が行われ、新たな12名の議員で議会運営に取り組んでまいります。また、私たちが議会だよりの編集委員となりましたので、宜しくお願
 いたします。

気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)は、昨年12月12日、世界全体で取り組む2020年以降の地球温暖化対策を定めた「パリ協定」を採択しました。世界の平均気温の上昇幅を産業革命前の水準と比べて「2度」を十分に下回るようにし、上昇幅を「1.5度」に抑える努力をするとしました。深刻な渇水やハリケーンなどの自然災害の頻発など温暖化に伴う被害が深刻化しています。町も企業も各家庭でも、温暖化対策の取り組みを推進していきましょう。

人類が生き続けるために！

(酒井 正利)

澤本 幹男 宮野 亨
 村木 征一 師岡 伸公